

受理番号及び 受理年月日	所 管	件 名 及 び 要 旨	提 出 者
29 年－ 17 (29. 5.30)	県土整備	<p>県道倉吉鹿野線の街灯に係る調査について</p> <p>▶陳情理由 先日、陳情者は、倉吉駅から倉吉消防署、三朝ロイヤルホテルを経て三朝町役場方面に至る道路を夜間に自転車で走っていたところ、見えにくい段差（陥没）にバランスを崩し、ブレーキをかけると濡れた路面にタイヤが滑って転倒し、両手両足、肘や膝に擦り傷、切り傷及び打撲を負った。 あの道は、倉吉と三朝を結ぶ主要道であるが、夜間には対向車のライトがちょうど歩行者や自転車に乗る者にまぶしい角度で当たり、目の前のものや状況が蒸発するように見えなくなってしまう。夜の 10 時や 11 時であっても、野球部とおぼしき中高生が通行するが、彼らは、自転車のライトだけでは足りず、頭にまでライトをつけて登下校している。しかし、街灯が肝心の箇所がないので見えず「正直怖い」という声もある。あの道を中高生にひとりで登下校させる周囲の者も心配なのではないか。夜遅くまで頑張っている学生が安心して登下校し、住民が安全に通行できるように管理をするのが、行政・道路管理者に課せられた使命であるはずである。 あの場所に設置される街灯はとても暗いように思うが、光量（ルクス又はカンデラ）は、基準値と比較してどうなのか。倉吉消防署から三朝ロイヤルホテルまでの間に 20 本あるようだが、これはおおむね何メートルごとに設置されているのか。全国的な平均と比較してどうなのか。交通量はどのくらいあるのか。 ついては、実際に、県議会議員や県職員において、夜間に現場に行き、どれだけ現場が暗く、危険性があるか、視察・現地調査を行うことを願います。また、問題が確認されれば、街灯の増設等の必要な対策を講じることを願います。</p> <p>▶陳情趣旨 県道倉吉鹿野線の街灯整備の必要性を調査するため、県議会又は県当局において、現地調査をすること。</p>	足 羽 佑 太 (倉吉市)